

## 地域再生計画に係る事業の効果検証

### 1 白山の恵み、人の交流、埋もれた資源を利活用した「白山おもてなし再生 プロジェクト」

計画期間	事業概要	担当課	適用する制度	事業費(H30)	交付金等(H30)		
				[単位:円]	[単位:円]		
H27～R元 (2015～2019)	道の駅「めぐみ白山」における観光情報コーナー整備実施設計	道の駅推進室	地域再生戦略交付金	-	-		
評価	評価理由	次年度以降の対応方針			総合戦略推進委員会の意見		
		区分	今後の方針				
地方創生に効果が あった	「道の駅」めぐみ白山が開業し、山ろく地域の情報発信や特産品などを紹介、販売することで誘客の増加につながった。観光施設の一つが年度途中で廃業し、全体的な数値は落ちているが、それ以外の施設誘客と比べ微増している。	事業の継続	既存道の駅との連携を強化し、観光施設への誘客を促進する。		無		
業績評価指標		単位	基準値	基準年月	実績値(H30)	目標値	目標年月
既存道の駅への誘客		千人	257	H27	247	269	R2.3
観光地(施設)への誘客		千人	2,626	H27	1,748	2,757	R2.3
農産物の生産量の向上		t	1,401	H27	1,116	1,415	R2.3
農産物の生産額の向上		千円	244,393	H27	223,712	246,836	R2.3

### 2 白山の恵みと産業基盤を活かした雇用拡大と人材確保推進事業

計画期間	事業概要	担当課	適用する制度	事業費(H30)	交付金等(H30)		
				[単位:円]	[単位:円]		
H28～H30 (2016～2018)	合同就職説明会事業	商工課	企業版ふるさと納税	-	-		
評価	評価理由	次年度以降の対応方針			総合戦略推進委員会の意見		
		区分	今後の方針				
地方創生に効果が あった	参加企業数は前年とほぼ同じであり売り手市場と言われる中、多数の学生に参加いただいた。	事業の継続	企業版ふるさと納税の充当は平成28年度のみであったが、平成29年度以降も事業は継続実施していた。近年の好景気により企業の人手不足が続いていることから、市内企業へ若者の就職を結びつけるために平成31年度も実施する。		無		
業績評価指標		単位	基準値	基準年月	実績値(H30)	目標値	目標年月
雇用拡大と人材確保による市内就職者数(累積)		人	0	H26	39	19	H31.3

### 3 白山開山1300年を契機とした白山ブランド確立計画

計画期間	事業概要	担当課	適用する制度	事業費(H30)	交付金等(H30)		
				[単位:円]	[単位:円]		
H28～H30 (2016～2018)	白山開山1300年記念PR戦略事業	観光課	地方創生 推進交付金	10,380,000	5,190,000		
評価	評価理由	次年度以降の対応方針			総合戦略推進委員会の意見		
		区分	今後の方針				
地方創生に相当程度効果があった	記念事業をきっかけに、地元団体が自発的に誘客に取り組む姿勢が見られた。今後さらに推進するため継続的に一部の事業は実施することとなった。	予定通り事業終了	白山への関心の高まりを継続させ、豊かな恵みを地域の活性化に生かす取り組みを促進する。		無		
業績評価指標		単位	基準値	基準年月	実績値(H30)	目標値	目標年月
観光入込客数		人	5,185,144	H27	4,850,567	5,400,000	H31.3
着地型観光商品採用件数増(累計)		件	65	H27	306	187	H31.3

### 4 霊峰白山の恵みと大地の物語(ジオパーク)を活用した「オール白山」活性化事業

計画期間	事業概要	担当課	適用する制度	事業費(H30)	交付金等(H30)		
				[単位:円]	[単位:円]		
H28～H30 (2016～2018)	道の駅「(仮称)白山」運営事業 6次産業化チャレンジ支援事業 展示・情報発信施設等整備	道の駅推進室 地産地消課	地方創生 推進交付金	2,264,800	1,132,400		
評価	評価理由	次年度以降の対応方針			総合戦略推進委員会の意見		
		区分	今後の方針				
地方創生に相当程度効果があった	6次産業化チャレンジ支援事業への応募が3件あり、そのうち2件を採択し、地元産農林水産物を活用した商品の開発に取り組んだ。新たな道の駅の開業であり、ご祝儀相場感があるが、他の道の駅には無い大型スクリーンでの情報発信に特化したことで話題性があり集客効果につながった。平成30年4月27日に道の駅「めぐみ白山」が開業し、KPI上の利用者数は達成できた。しかしながら、農作物の作付面積は昨年の猛暑の影響により出荷量が減少したと思われるものの、地方創生に相当程度効果があった。	事業の継続	市内産農林水産物の6次産業化推進は、一次産業の振興のみならず、特産品の開発などによる観光誘客の推進や交流人口の拡大につながり、本市の産業全体の振興に大きな効果をもたらすため、今後も事業を継続していくこととする。 建設関係については、計画どおりの施設が整備された。新たな、映像を制作(他事業)することにより効果的な集客を図る。事業としては、予定どおり終了するものの、引き続き道の駅「めぐみ白山」を中心に地域の活性化及び市全体の交流人口の拡大を図る。また、市内産農林水産物の販売や6次産業化の推進は、本市の産業振興に大きな効果をもたらすため、継続して取り組んでいくこととする。		無		
業績評価指標		単位	基準値	基準年月	実績値(H30)	目標値	目標年月
道の駅利用者		人	257,000	H27	694,843	640,000	H31.3
農作物の作付面積		ha	37	H27	56	64	H31.3

## 5 多世代参加による生涯健康・活躍を目指す「ごっちゃ」プロジェクト

計画期間	事業概要	担当課	適用する制度	事業費(H30)	交付金等(H30)		
				[単位:円]	[単位:円]		
H28～H32 (2016～2020)	生涯活躍のまちの形成	長寿介護課	生涯活躍の まちの形成	-	-		
評価	評価理由	次年度以降の対応方針			総合戦略推進委員会の意見		
		区分	今後の方針				
地方創生に効果が あった	要介護認定者数の抑制にはつな がらなかったが、他の項目はそれ ぞれ増加した。	事業の継続	社会福祉法人佛子園が地域 健康促進施設「B's」を拠点 に事業を継続しており、今後 も「ごちゃまぜ」で暮らせる地 域・多世代交流等を支援する 取り組みを進める。		無		
業績評価指標		単位	基準値	基準年月	実績値(H30)	目標値	目標年月
自治会室での 地域の課題・取組数の向上		件	3	H28	45	30	R3.3
出城地区 地域健康促進活動参加者数の向上		%	10	H28	6.2	30	R3.3
北安田町の 世帯数の増加		世帯	630	H28	706	660	R3.3
出城地区 介護保険要介護認定者数増加の抑制		人	256	H28	296	286	R3.3

## 6 白山手取川ジオパークを活用したプロモーション事業

計画期間	事業概要	担当課	適用する制度	事業費(H30)	交付金等(H30)		
				[単位:円]	[単位:円]		
H29～R元 (2017～2019)	ジオパーク誘客推進、プロモ ーション活動	ジオパーク・ エコパーク推進課	企業版 ふるさと納税	14,603,897	10,000,000		
評価	評価理由	次年度以降の対応方針			総合戦略推進委員会の意見		
		区分	今後の方針				
地方創生に効果が あった	魅力あるガイド付きジオツアーを 実施するため、H29年度から公認 観光ガイド養成講座を開講しH29 年度は8名、H30年度は新たに6 名の公認ガイドが誕生した。ツ アー参加者数は、指標値に向け て、増加傾向にあるが、観光入込 客数にはまた結びついていない 状況にあるが、今後の誘客に繋 がるものと思われる。	事業の継続	引き続き、魅力的なツーリ ズムの確立に向けて、公認観 光ガイド養成講座を継続して 開講するとともに、市観光連 盟、旅行業者、バス事業者と の連携により、総合的な取り 組みを実施し、誘客促進を図 る。		無		
業績評価指標		単位	基準値	基準年月	実績値(H30)	目標値	目標年月
ツアー参加者数		人	0	H28	239	400	R2.3
観光入込客数		人	5,200,000	H28	4,850,567	5,500,000	R2.3

## 7 白山の恵みと人集い、活力あふれるまちづくり計画

計画期間	事業概要	担当課	適用する制度	事業費(H30)	交付金等(H30)		
				[単位:円]	[単位:円]		
H29～R3 (2017～2021)	市道、林道の整備	土木課	地方創生 道整備推進 交付金	527,337,600	267,740,000		
評価	評価理由	次年度以降の対応方針			総合戦略推進委員会の意見		
		区分	今後の方針				
地方創生に効果が あった	交通事故発生件数が大幅な減となり目標値をクリアした。また、工場製品出荷額が前年度を割り込んだが目標値をクリアしている。	事業の継続	新たな道の駅が開業し、既存道の駅の誘客数が増加に転じており、今後も安全で安心できる道路整備を推進し、指標の達成を図る。		無		
業績評価指標		単位	基準値	基準年月	実績値(H30)	目標値	目標年月
観光入込客数の増加		千人	5,183	H27	4,851	5,530	R4.3
工場製品出荷額の増加		億円	4,944	H26	5,737	5,439	R4.3
交通事故発生件数の減少		件/年	387	H27	230	251	R4.3
間伐材供給量の増加		m <sup>3</sup> /年	6,546	H27	6,832	12,503	R4.3

## 8 鉄道施設を活用した広域観光振興事業

計画期間	事業概要	担当課	適用する制度	事業費(H30)	交付金等(H30)		
				[単位:円]	[単位:円]		
H30～R2 (2018～2020)	・観光プラン、ビジターセンター等	白山総合車両所 等活用対策室	地方創生 推進交付金	31,262,868	15,631,434		
評価	評価理由	次年度以降の対応方針			総合戦略推進委員会の意見		
		区分	今後の方針				
地方創生に効果が あった	今年度より鉄道車両基地等を活用するため、観光プラン策定に着手し、白山市及びその周辺の観光資源と連携するための方策に取り組んでいる。また、JR西日本白山総合車両所の一般見学者が前年度比16%増加している。しかし、この誘客効果を今年度オープンした道の駅めぐみ白山やその周辺の観光資源とストーリー性のある一体的な観光事業の展開ができなかったことが減少した要因と捉えている。 このような状況の中で、宿泊者数、外国人旅行客数に増加が見られたことは、白山開山1300年記念事業等による誘客効果及び知名度アップにつながったと考えている。	事業の継続	事業効果をさらに進めるため、観光プラン策定事業の推進を図る。次につなげていくためにも、令和元年度は鉄道車両基地等の観光活用方策を展開するための調査を実施し、引き続きKPI達成に向けて取り組みを強化する。		無		
業績評価指標		単位	基準値	基準年月	実績値(H30)	目標値	目標年月
観光入込客数		人	4,986,391	H29	4,850,567	5,514,000	R3.3
宿泊者数		人	215,776	H29	222,424	257,000	R3.3
外国人来訪者数		人	5,317	H29	7,356	5,680	R3.3